

和歌山県教育功労者・優秀教職員知事感謝状受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に携わり献身的活動を続け、その功績が特に顕著である学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に感謝状を贈呈する。

よし むら とし き
吉 村 利 規

和歌山市立雑賀崎小学校 他8校 学校医

《主な功績》 昭和61年から現在まで学校医（眼科）として、定期健康診断及び学校保健会を通して、児童生徒の健康管理に尽力した。また、和歌山市医師会学校医部会副議長、和歌山市医師会副会長及び和歌山県眼科医会顧問等を歴任し、学校医部会の運営に尽力するなど、学校保健の充実に寄与した功績は多大である。

とよ ざわ ひろし
豊 澤 浩

橋本市立橋本小学校 学校医

《主な功績》 昭和54年から現在まで学校医として、健康安全管理に関する指導助言を行うとともに、運動会で緊急時に備えた対応を行うなど、児童の健康保持増進に大いに貢献した。また、学校保健安全委員会において、児童の健康面・体力面について積極的に指導助言に努めるなど、学校保健教育の進展に貢献した功績は多大である。

くり やま しげ じ
栗 山 茂 司

有田市立箕島小学校 学校医

《主な功績》 平成6年から現在まで学校医として、健康診断を通して、児童の健康管理を献身的に行うとともに、学校保健教育の向上に尽力した。また、有田市医師会の理事・監事として、有田市の児童の健康推進及び地域医療の発展に寄与するなど、学校保健活動の充実に貢献した功績は多大である。

さか なか こう ぞう
阪 中 孝 三

かつらぎ町立妙寺中学校 学校医

《主な功績》 昭和62年から現在まで学校医として、健康指導・管理を献身的に行うとともに、生徒及び教職員に的確な助言を行うなど、生徒の健康推進に尽力した。また、和歌山県医師会医学会総会や各種研修会にも積極的に参加し、学校医として日々研鑽するなど、学校保健教育の充実に貢献した功績は多大である。

で じま とし ろう
出 嶋 寿 郎

上富田町立市ノ瀬小学校 他1校 学校薬剤師

《主な功績》 平成元年から現在まで学校薬剤師として、学校保健活動に熱心に取り組む、児童生徒の安心・安全な学校生活のため、学校環境衛生についての的確な指導助言を行うなど、児童生徒の健康教育に尽力した。また、上富田町教育委員会委員として、学校保健等に関わる教育の推進に尽力するなど、学校保健の進展に貢献した功績は多大である。

はな の やす ひさ
花 野 靖 久

和歌山県立和歌山盲学校 学校医

《主な功績》 昭和60年から現在まで学校医として、和歌山県立和歌山盲学校の視覚障害及び重複障害の幼児・児童・生徒やその保護者に寄り添い、適切な助言や健康教育の推進に寄与した。また、同校産業医として、職員の健康相談や学校内の環境衛生管理の指導を熱心に行うなど、学校保健及び健康推進に幅広く貢献した功績は多大である。

《社会教育部門》

長年にわたり、社会教育活動に携わり献身的活動を続け、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した功績が特に顕著である方々に感謝状を贈呈する。

●個人の部

おく だ まさ はる
奥 田 雅 晴

ボーイスカウト和歌山連盟 事務局長

《主な功績》 ボーイスカウト和歌山第2団委員長として、地域の青少年に自立心や協調性等を習得させるため、和歌山県のボーイスカウト活動の充実発展に寄与した。また、ボーイスカウト和歌山地区協議会総務委員長、ボーイスカウト和歌山連盟事務局長を歴任するなど、全県下にわたるボーイスカウト活動の推進と青少年の健全育成に尽力した功績は多大である。

いん べ のり お
井 邊 矩 男

和歌山県ゴルフ連盟 専務理事

《主な功績》 平成12年から和歌山県ゴルフ連盟の専務理事・事務局長を歴任し、各種県民ゴルフ大会・ゴルフ講習会の開催、ジュニアクラブの設立、高等学校のゴルフ部及び市町村ゴルフ協会の設立支援、ゴルフ規則・マナーの講習、ゴルフ指導者育成講習、選手育成・強化等を精力的に行い、スポーツとしてのゴルフの普及発展に尽力した。また、紀の国わかやま国体の成功に向け、県内のゴルフ場利用者に対し、スポーツ振興協力金（ゴルフ募金）への呼びかけを積極的に行い、本県国体競技の選手強化及び県体育協会の運営等に貢献をした功績は多大である。

●団体の部

こうこくじとうろうやきほぞんかい
興国寺燈籠焼保存会

会長：山川 宗玄 所在地：日高郡由良町

《主な功績》 「興国寺の燈籠焼」は、県下を代表する盆の送り火行事であり、「由良の開山」として知られる禅刹・興国寺を中心に、由良町門前地区の檀信徒の盆行事として室町時代から伝えられたといわれる貴重な文化財であり、昭和37年に和歌山県無形民俗文化財に指定を受けた。現在、燈籠焼を後世に長く伝承するため、由良町門前地区の住民有志を中心に、積極的に後継者育成を図るとともに、「興国寺の燈籠焼」の保存・伝承に尽力し、本県の伝統文化の向上・発展に貢献した功績は多大である。

《優秀教職員》

長年にわたり、本県学校教育の振興に貢献し、その功績が特に顕著である教職員の方々に感謝状を贈呈する。

さん どう ま き こ
山 東 真紀子

和歌山市立藤戸台小学校 教諭

《主な功績》 社会科や生活科、総合的な学習の時間、家庭科において、児童の興味関心を高める教材を独自に開発するとともに、児童が主体的に取り組めるよう、体験や活動を中心とした学習展開を工夫するなど、優れた実践を提案し続けた。また、教職大学院初任者研修プログラムの派遣校において、大学教員とカンファレンスで指導にあたるなど、若手教員の育成に尽力している。現在も、社会科や生活科等の研究会の協力を務め、指導助言を行うなど教員の授業力向上に貢献している。

わた だ あや こ
綿 田 綾 子

九度山町立九度山小学校 教諭

《主な功績》 特別支援コーディネーターとして、特別な支援を必要とする児童に対する支援体制づくりや教員の特別支援教育に対する意識向上に寄与した。また、教育相談等早期支援における巡回相談員として、担任、保護者の相談に応じるとともに、県の特別支援教育指導員として学校訪問等での的確な指導助言を行った。現在、通級指導教室を担当し、児童の障害特性や発達段階の個性、興味関心や理解度を把握しながら個に応じた取組を行うなど、専門性を発揮して特別支援教育の推進に貢献している。

なか ね まさ とみ
中 根 真 富

田辺市立田辺第二小学校 教諭

《主な功績》 教務主任として、田辺市教務主任者会で自らの取組を発表し、市内全体に成果を普及してきた。教科指導においては、特に、家庭科において、平成24年度全国家庭科教育協会東京大会や全国小学校家庭科教育研究会佐賀大会など、様々な場で研究発表を行うなど、広く家庭科教育の発展に寄与してきた。また、きのくに教育賞受賞後も県内の研究会から招聘され研修会の講師を務めるなど、広く教育実践の普及に努めてきた功績は多大である。

さか い とも こ
坂 井 朋 子

海南市立巽中学校 教諭

《主な功績》 国語科の授業では、「ことば」を大切に丁寧な指導を行うとともに、グループ学習やPISA型読解力を向上させる学習など指導方法の工夫を実践してきた。また、優れた指導力を生かし、地域の授業研究会における指導助言を行うばかりでなく、校内外の若手教員の指導に尽力するなど、国語科教育の振興に貢献している。勤務校のみならず、広く教育実践の普及に努めてきた功績は多大である。

き もと いち ろう
木 本 一 郎

和歌山県立神島高等学校 教諭

《主な功績》 少林寺拳法部顧問として、熱心に指導にあたり、県高等学校総合体育大会では、総合の部で19連勝という偉業を続けている。特に2005年に行われた「国際大会 in Fukui」では、女子組演武優勝を果たすなど幅広く活躍している。近畿大会や全国高等学校少林寺拳法大会などにおいて、幾度となく優勝する選手を育て続け、また、地域においても小・中学校と連携し、青少年の健全育成に尽力しており、その功績は多大である。部員に対しては、ボランティア活動にも積極的に参加するよう勧める指導を行っており、こうした指導は、他の教職員の手本となり、中堅、若手教員の育成にもつながっている。

和歌山県教育委員会功労賞受賞者

《学校教育部門》

長年にわたり、児童生徒の健康管理・健康教育等に積極的に取り組み、学校保健向上に尽力した学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々に表彰状を授与する。

えの もと たつこ
榎 本 多津子

和歌山市立雑賀小学校 他2校 学校医

《主な功績》 平成3年から現在まで学校医として、定期健康診断、学校保健会に
従事し、児童の健康管理に尽力した。また、和歌山県医師会の理事と
して、和歌山市学校医部会の運営に尽力するとともに、講演会等に積
極的に参加し、児童の健康教育等のため学校への指導助言を行うなど、
学校医として学校保健の推進に貢献した功績は誠に顕著である。

すが の けい じ
菅 野 啓 二

和歌山市立明和中学校 学校歯科医

《主な功績》 昭和49年から現在まで学校歯科医として、44年の長きにわたり
児童生徒の健康教育に尽力した。また、歯科検診をはじめ、健康教育
全般にわたり、学校に対し適切な指導助言を行うなど、学校保健の発
展向上に寄与した功績は誠に顕著である。

にし おか あき のり
西 岡 昭 規

海南市立加茂川幼稚園 他1校 学校医

《主な功績》 平成3年から現在まで学校医として、献身的・精力的に幼児児童の
検診及び指導助言を積極的に行うとともに、健康管理、健康保持及び
増進等のため尽力した。また、海南医師会の理事として、海南医師会
の充実発展に寄与するとともに、海南市及び海草地方等における学校
保健活動に積極的に従事するなど、学校保健・健康教育の推進に貢献
した功績は誠に顕著である。

とみ やま ひろ ふみ
富 山 博 文

有田市立田鶴小学校 学校歯科医

《主な功績》 平成2年から現在まで学校歯科医として、定期健康診断や就学时健診に従事し、児童の健康管理及び健康教育に尽力した。また、学校保健委員会等へ積極的に参加し、児童の健康管理のため、学校への指導助言を行うなど、学校保健及び健康教育の発展向上に貢献した功績は誠に顕著である。

たけ もと みどり
武 本 緑

和歌山県立貴志川高等学校 学校薬剤師

《主な功績》 平成7年から現在まで学校薬剤師として、各種学校環境衛生検査に従事するとともに、生徒の健康管理のため、教職員への指導助言を行い、学校保健の充実に寄与した。また、感染症対策及び災害時における養護教諭の対応方法や学校薬剤師との連携についても、養護教諭と積極的に共同研究を行うなど、教職員の現職教育に尽力し、学校保健の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

《社会教育部門》

社会教育活動を継続して行い、青少年の健全育成や、社会体育、文化の向上に貢献した方々に表彰状を授与する。

●個人の部

さ たけ まり こ
佐 竹 万里子

和歌山県弓道連盟 名誉会長

《主な功績》 昭和59年から和歌山県弓道連盟の副会長に就任し、地域会員の指導にあたるとともに、弓道競技の普及・発展に尽力した。また、平成24年から会長、平成26年から名誉会長を歴任し、第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）の準備に尽力し、紀の国わかやま国体成功へ寄与した功績は大きい。さらに、県内のみならず全国各地の講習会における講師や、国際弓道連盟の海外セミナー講師として指導力を発揮するなど弓道競技の競技力向上のため貢献した功績は誠に顕著である。

まさ き てる お
正 木 照 夫

和歌山県柔道連盟 顧問

《主な功績》 昭和63年から和歌山県柔道連盟の理事、副会長の役職を歴任し、連盟の円滑な運営を図るとともに、県内における柔道の競技力の向上に尽力するとともに、平成20年には顧問に就任し、和歌山県柔道連盟の充実に努め、後進への指導及び助言を惜しみなく行い、本県における柔道競技の発展に大いに寄与した。また、和歌山市立楠見中学校の外部指導者として、同校を近畿中学校柔道大会優勝に導くなど、柔道競技の普及と地域の青少年育成に貢献した功績は誠に顕著である。

わた なべ のり え
渡 邊 紀 恵

和歌山市婦人団体連絡協議会 書記

《主な功績》 平成21年から和歌山市婦人団体連絡協議会の書記に就任し、当会の各事業の実施、運営等に尽力し、和歌山市の社会教育の振興に寄与した。また、和歌山市婦人団体連絡協議会の役員として、和歌山県婦人団体連絡協議会の各種研修会等にも積極的に参加することで、地域での婦人会活動に生かし、他地域の婦人会と交流を図り情報交換を行うことで地域社会の形成に貢献した功績は誠に顕著である。

●団体の部

おおぜたいこおどりほぞんかい
大瀬太鼓踊保存会

会長：羽根 千恵子 所在地：田辺市

《主な功績》

大瀬の太鼓踊は、毎年8月に田辺市本宮町大瀬地区の盆行事として奉納される大瀬の盆踊りのなかの一つであり、締太鼓を白布で首から吊るした太鼓打ち3人が中央に立ち、その周囲を両手に日の丸扇を持った踊り子たちが扇踊りを踊りながら廻り、外側に立つ音頭取りの歌に合わせて踊る、大瀬地区だけの踊りとして昭和40年に県指定無形民俗文化財、昭和53年に国の「記録作成等の措置に講ずべき無形文化財」（国選択 無形民俗文化財）にそれぞれ指定されている。

保持団体である大瀬太鼓踊保存会は、伝統芸能の保存・継承を長年にわたって地域を挙げて取り組み、活動歴が50年を超える。同保存会では、大瀬太鼓踊やそれに関連する諸行事を後世に長く伝承するため、本宮地区の住民有志とともに、地元小学校の授業に取り入れ地域のイベント等で披露するなどの活動を通じて、地域文化の担い手づくりや地域住民の世代間の融和、郷土の歴史文化の学習機会の確保など本県の伝統文化の向上と発展のため貢献した功績は誠に顕著である。

《教育行政部門》

本県教育の向上に努め、地域と連携した教育の推進に貢献した市町村の教育長及び教育委員の方々に表彰状を授与する。

はら
原

かず
一 起

前 和歌山市教育委員会 教育長

《主な功績》 平成24年から和歌山市教育委員会教育長として、和歌山県内初となる義務教育学校の設置を遂行するなど、数々の功績を残し、和歌山市教育行政の発展に尽力した。また、和歌山県都市教育長協議会会長として指導力を発揮するとともに、平成28年4月から平成30年4月まで近畿都市教育長協議会の会長として、平成30年5月から令和元年5月まで全国都市教育長協議会の会長として尽力するなど、県全体の教育行政の発展に貢献した功績は誠に顕著である。

むか
向 井

たかし
孝

元 田辺市教育委員会 委員

《主な功績》 平成19年から田辺市教育委員会委員として、地域社会全体で子供を育てる「学社融合」の取組として、学校と公民館の連携・協力体制を構築するなど、それぞれの地域の特色を生かした取組を展開し、学校教育の充実、地域の教育力の向上に尽力した。また、図書館と歴史民俗資料館の複合文化施設建設を推進し、市民の文化生活の向上に寄与するとともに、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録を促進するなど、地域文化の振興・発展に貢献した功績は誠に顕著である。

もり
森 岡 一 郎

紀の川市教育委員会 委員

《主な功績》 平成18年から紀の川市教育委員会委員として、平成17年の5町合併により紀の川市となって間もない中、教育環境の充実はもとより、学校教育や生涯学習など山積する多くの課題についても、これまで培ってきた教育における多くの経験を基に解決に向け尽力した。また、豊富な見識、卓越した指導力を発揮し、紀の川市の教育行政の発展に寄与するとともに、平成28年度から紀の川市が和歌山県市町村教育委員会連絡協議会の会長市となった際、県内の教育委員の研鑽の場を設けるべく事務局職員への働きかけを積極的に行うなど、県内全体の教育行政の充実発展に貢献した功績は誠に顕著である。

はし
橋 だ
戸 つね
常 とし
年

前 紀美野町教育委員会 教育長

《主な功績》

平成22年から紀美野町教育委員会教育長として、町内各学校が自主的に研究・実践した成果を発表する研究発表会を実施するなど、子供たちの学習意欲や教員の資質能力向上のため尽力した。また、生徒の心身の健全な発達に資するため、平成25年に町内全中学校において、学校給食を開始し、食に関する正しい理解と適切な判断力向上に寄与した。さらに、地域住民の心身の健全育成と相互の親睦推進のため、「ふれあいマラソン大会」を開催するとともに、心豊かに生きる教育の町づくり推進のため、「町民大学講座」を実施するなど、幅広い生涯学習の機会を提供するため貢献した功績は誠に顕著である。

くさ
草 だ
田 そう
蒼 た
太

かつらぎ町教育委員会 委員

《主な功績》

平成19年からかつらぎ町教育委員会委員として、かつらぎ町学校適正化計画に基づく小中学校の統廃合について、地域住民の意見を踏まえ、小中学校7校の統合に尽力するとともに、町内全学校において給食を開始するなど、教育環境の整備実現のため尽力した。また、町内保育所と幼稚園の統合により、こども園を2箇所に開設し、就学前の子供の成長と発達を見据えて、幼児教育・保育を一体的に提供できる環境整備に力を注ぐなど、地域の子育て支援充実のため貢献した功績は誠に顕著である。

しま
嶋 だ
田 とし
俊 あき
昭

九度山町教育委員会 委員

《主な功績》

平成18年から九度山町教育委員会委員として、卓越した見識と豊富な経験を生かし、九度山町教育振興基本計画の策定に取り組むとともに、その教育目標の実現に向けた施策を推進するなど、九度山町の教育振興のため尽力した。また、学校教育において、パソコンを活用した情報教育推進に積極的に取り組むとともに、町内学校の普通教室や特別教室等に冷暖房設備の整備を進めるなど教育環境整備に貢献した功績は誠に顕著である。

いと や ひろ はる
糸 谷 坂 治

日高町教育委員会 委員

《主な功績》

平成17年から日高町教育委員会委員として、広い見識と豊富な経験を生かし、教育行政の充実発展に尽力した。また、委員長職務代行及び委員長を歴任し、教育環境の改善を図るため、町内各学校及び公民館等の設備改修に必要な施策を推進するなど、卓越した指導力を発揮し、学校教育及び社会教育の両面において、教育振興に貢献した功績は誠に顕著である。

きのくに教育賞受賞者

本県学校教育において、特に優れた教育実践を行い成果を上げていると認められる教職員の方々に表彰状を授与する。

《小学校の部》

はやし
林

ひで
秀

み
美

紀の川市立池田小学校 教諭

《主な功績》

理科の指導において、児童の関心・意欲を高め、科学的思考に基づいた疑問や予想を十分に引き出す工夫をしている。一人一人が主体的に観察・実験を行うことで、結果から考察できる授業を実践し、児童の科学的思考力の向上に貢献している。

理科専科教員として、学年の枠を越えて学校全体を見通した研究を進めることにより、児童の学力向上に寄与している。

平成30年度紀の川市初任者研修の講師を務め、初任者に理科をはじめとする授業づくりの心得について伝達し、若手教員の育成に尽力した。また、平成30年度に紀の川市指導委員（理科）を務め、学校訪問や指導案の検討等で適切な助言を行い、市内全域の理科教育の向上、充実、発展に寄与した。

日々自己研鑽に励み、積極的な授業提案や研修の内容を現職教育等で共有するなど、熱心な姿勢ときめ細かい指導は若手教員の模範となり、児童や保護者、教職員からの信頼も厚い。

《中学校の部》

みず
水

なみ
波

よし
佳

こ
子

和歌山市立西和中学校 教諭

《主な功績》

生徒を中心に据えた指導方法を取り入れ、学び合いの授業づくりを行っている。ICT機器を活用して映像やイラストを使った視覚支援、スモールステップでの授業進行など、常に生徒一人一人を大切にした、きめ細かい丁寧な指導は若手教員の模範である。

授業では、全ての指示や発問を簡単な英語表現で行うことによって生徒の聞く力を高めるとともに、自分の考えを英語で書く活動や即興的な会話練習などの学習活動を毎時間取り入れ、生徒の表現力向上に寄与している。

文部科学省により認証された本県の英語教育推進リーダーとして、第1期和歌山県中学校・特別支援学校中学部英語科教員指導力・英語力向上研修の研修講師を務めることにより、県内の英語教員の指導力向上に貢献した。

平成25年度和歌山教育実践研究大会において「子どもたちが『主役』になれる授業をめざして」というテーマで授業を提案するなど、自身が積み上げてきた教育技術を伝達し、県内の英語教育発展に寄与した。

《主な功績》 音楽の高い専門性を生かし、生徒の自主性を大切にした指導により、生徒の能力を最大限に引き出している。また、ゲストティーチャーを招いた研究授業を行うなど、地域と連携・協働した授業づくりを熱心に行い、生徒、保護者、地域からの信頼も厚い。

毎年、100人を超える学年合唱の指導に取り組み、校内合唱コンクールの指導では、達成感や充実感を味わうことの効果を、生徒のみならず教職員に伝達し、学校全体の教員の指導力向上に寄与している。

顧問を務める合唱部では、集団としての合唱指導を行うとともに、一人一人に応じたきめ細かい指導にも取り組み、各種音楽コンクールや発表会で数々の賞を受賞し、近畿大会や全国大会の出場に導くなど、大きな功績を残している。

合唱部の校外活動として、県内に配布されている和歌山県民歌の収録に尽力するなど、様々な機関から直接要請を受けて積極的に参加し、高い評価を得ている。

《主な功績》 高い専門性を生かした英語による明確な指示や生徒とのやり取りは、生徒のコミュニケーション能力の向上に寄与している。また、辞書を継続的に活用させ、生徒の語彙力や自ら学ぶ力を育成している。

生徒が達成感を得られる機会を多く設定し、実用英語技能検定の上位級への挑戦を推進したり、スピーチコンテスト等への出場に導いたりするなど、熱心な指導を行っている。また、日高地方の小学生を対象とした所属校主催の「英語暗唱大会」を開催する礎を築き、地域の英語教育の充実に貢献している。

校内の英語教育の中心的役割を担い、3年生の修学旅行で行う大使館訪問での英語プレゼンテーションなどの指導を率先して行うなど、生徒の英語活用力の育成に尽力している。

3年間をとおして系統的な教育活動を推進している。総合的な学習の時間においては、「持続可能な開発目標」(SDGs)に関する学習に、地域の団体や外部人材等と連携しながら取り組み、生徒の問題解決能力の向上に寄与している。

《高等学校・特別支援学校の部》

かとうのりひさ
加藤 統久

和歌山県立那賀高等学校 教諭

《主な功績》

文部科学省により認証された本県の英語教育推進リーダーとして、県教育委員会が主催する英語教員を対象とした研修において講師を務め、本県英語教育の推進に大きく貢献している。また、近畿地区英語・国際関係科等設置高等学校長会研究協議会で、スピーキング力等の発信力の育成について実践発表を行うなど英語教育の向上に寄与している。

初任者研修対象教員や県内外の英語科教員に積極的に授業を公開し、他の教員に多くの示唆を与えている。

文部科学省委託事業「英語教育推進リーダー中央研修」やアメリカ大使館主催「日本人英語教員のための冬季集中セミナー」、「日本人英語教員のためのアドバンスト・セミナー」等を受講し、日頃から自己研鑽に努めており、この姿勢は他の教員の模範となっている。

アジア・オセアニア高校生フォーラム等において運営の中心となるなど、国際的な行事に積極的に貢献している。校内では国際理解教育部長として、同校生徒の海外研修団の派遣や受入れ等にも尽力し、国際交流の充実に寄与している。

たにぐちかずひさ
谷口 和久

和歌山県立南部高等学校 教諭

《主な功績》

主として果樹を担当し、教科指導及び圃場管理等について専門性を生かした指導を行うなど、長年にわたり農業教育一筋に取り組んできた。特に、ブランド「南高梅」の誕生に深く関わりのある学校として、学校設定科目「ウメ」が設定された平成12年度当初から科目担当として長く携わるなど、地元特産の一つである「梅」栽培を中心に農業教育の推進に寄与している。

平成28年度以降、新学科「食と農園科」改編の中心的役割を担い、農業科及び家庭科の教員をまとめて、カリキュラムの編成や新実習棟の整備計画、具体的な学科運営などにおいてリーダーシップを発揮した。7年にわたり農場長を務めるなど、学校運営の中心的な存在として、教職員からも全幅の信頼を得ている。

同校の「梅」生産に係る「JGAP（農業生産工程管理）」認証取得に向け、生徒とともに中心的な役割を果たし、令和元年5月に認証取得に至るなど、地域の特産物である梅のさらなる普及に努め、地域活性化のため大きく貢献している。

地域のイベントへの農産物や加工品の出品を積極的に行ったり、外部講師を招聘した実技講習を定例化させたりするなど、同校の農業教育を地域社会に発信する取組を推進している。

《主な功績》 学位（博士）に基づいた農業に関する高い専門性を有し、「地域社会の中核を担う若者を育てる」という学校ミッションのもと、有田地域の特産物を教材とする実践に取り組み、地域の農業を志す生徒の育成に尽力している。

学校で栽培している農産物や地域の特産物を生かし、品質の追究（有田ミカン）、新たな商品開発（スパイス）、6次産業化（マンゴーアイス）などを実践している。また、有田川町などの各関係機関と連携し、ブドウサンショウの研究にも積極的に取り組み、地域に貢献している。

農業クラブの活動として、校内模擬カンパニー「アグリ☆スマイル」の設立に大きく貢献し、栽培だけでなく、商品開発、販売を行う体験的な学習を実践している。地域企業と連携し、商品化を行うことで、農業を学ぶ高校生の活動成果を地域に積極的に発信し、生徒の学習意欲向上に寄与している。

農場長として、近隣農家と連携し、「地域における後継者育成」を目指した農場運営や教員の指導力向上に取り組んでいる。また、果樹を中心に「農作物ブランド化」を目指し、和歌山県や有田川町、地域企業と連携して栽培に取り組んでいる。

《主な功績》 病弱特別支援学校において、心身症等の児童生徒に対して、児童生徒と教員の良好な関係性をベースにした「提案・交渉型アプローチ」の実践に率先して取り組んでいる。取組を通じて、児童生徒の自己理解、自尊感情の回復や課題を解決する力等を豊かに育てている。

校内での実践を整理・分析し、県外（第57回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会、平成28年度・分科会）や県内の各種研究発表会等で発表を行い、研究協議会等で得られた知見を広く校内へ還元することで、病弱教育に係る専門性向上に寄与している。

研究研修部長としては、校内の教育課題を分析し、体系的な研修プログラムを展開することで、校内研修の深まりに尽力している。特別支援教育コーディネーター等と連携しながら保護者や主治医等と支援チームを構築したりするなど、学校運営の中心的な役割を担っている。

自己研鑽を怠らず、授業改善にも熱心に取り組んでいる。子供の実態を的確にとらえ、ねらいを明確にした授業実践を積み重ね、特別支援学校のチームティーチングによる実践を通じて、若手教員の育成に寄与している。

きのくに教育の匠受賞者

きのくに教育受賞者のうち、特に継続的な実践で成果を上げ、かつ、他の教員の指導力向上に寄与した方に対して称号を与える。

《幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む。）の部》

よし おか ち え
吉 岡 知 枝 和歌山市立和佐幼稚園 教諭

《主な功績》 園では、他の教員の意欲を高めながら協力体制を構築するとともに、園内研究推進に際し、経験と向上心を生かして積極的に計画・実践・振り返り・改善など、園の研究・実践の深まりに寄与している。

発達の段階を踏まえた優れた幼児理解により、幼児一人一人を大切にしたい、個に応じた適切な指導を行っている。また、幼児がチャレンジできる環境構成や場づくりなども熱心に行い、保護者からの信頼も厚い。

県教育委員会が主催する平成29年度幼稚園・保育所・認定こども園関係職員合同研修「教育課程・保育実践協議会」において、「特別支援を必要とする幼児の実態に応じた計画的、組織的な指導の在り方について」をテーマに和佐幼稚園の取組を発表し、研究成果の普及に努めた。

令和2年度和歌山市立幼保連携型認定こども園の新設にあたり、幼児教育・保育カリキュラムの作成委員会の乳幼児部会において、中心的な役割を担い、カリキュラムの作成に貢献している。

《中学校の部》

ゆ かわ まさ ゆき
湯 川 将 之 紀の川市立打田中学校 教諭

《主な功績》 美術科担当としての高い専門性を生かし、生徒が集中して取り組めるように授業の導入や活動の内容等を熱心に研究、実践している。また、自作の副教材を用い、1年間の見通しを持って学習させ、生徒が自分の活動を振り返り、成長や達成感を得られるよう工夫し、生徒の学習意欲を向上させている。

例年、紀の川市が行っている大韓民国済州の学校との国際交流活動において、交流授業を率先して行うなど中心的な役割を担っている。また、紀の川市初任者研修において、図画工作・美術をテーマに講師を務め、若手教員のよき相談役・指導者となり、意識改革をもたらすなど、所属校や地域のリーダー的な存在として信頼も厚い。

平成22年度から24年度、平成30年度から31年度の県指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行い、美術科を担当する教員の指導力向上に寄与し続けている。

県が主催する、令和元年度新教育課程説明会において、伝達者として次期学習指導要領について説明するなど、これからの美術科教育について普及する役割を果たしている。

さ さ き
佐々木

けん
建

和歌山県立日高高等学校附属中学校 教諭

《主な功績》

授業のねらいを明確にし、生徒が目的意識を持って授業中の活動を行えるように、教材の開発や指導方法を研究し、実践している。校外学習での外国人インタビューや、修学旅行で大使館を訪問し、英語で和歌山県や日本文化の紹介をするなど、生徒が意欲的に英語学習に取り組める機会を計画的に設定し、生徒の英語力・コミュニケーション能力を向上させている。

平成21から23年度、県指導委員を務め、授業研究会等で指導助言を行い、地域における英語指導力の向上に貢献した。

研究主任として、高大接続を意識した、より効果的な教育計画を作成し、日々実践・改善のサイクルを繰り返している。また、研究授業を率先して実施し、当該地方や県立中学校の英語教員等にも研究成果を普及して授業力向上に寄与した。

学力分析ツールを積極的に活用し、生徒の実力や個々の学習状況を常に把握し、日々、授業改善に取り組んでいる。また、生徒理解に努め研鑽を積む熱心な姿勢は、他の教員の模範であり、生徒、保護者からの信頼も厚い。

《高等学校・特別支援学校の部》

な す ま さ き
那 須 正 樹

和歌山県立神島高等学校 教諭

《主な功績》

商業系列の授業をとおして、「市場に流通させられる商品作り（梅あられ）」、「レシピ開発（梅やきとり）」、「商品のご当地ブランド化（梅やきとりのたれ）」、「南部田辺のツアー企画（石神梅林）」など、商品開発プロジェクト「神島屋」の活動を続け、年度毎に異なる課題に取り組ませることで、経済活動全体を系統的・実感的に生徒に理解させるとともに、地元食材等の消費拡大や地域活性化に大きく貢献している。

校外のコンテスト等を活用して、生徒に恒常的な学習意欲を喚起させるとともに、学校の取組や地域の産業を全国的にPRする取組を推進している。

地元の行政機関や地域の関係者との強い連携のもと、外部の教育資源を積極的に取り入れるとともに、学校を核とする人的ネットワークの構築に大きな役割を果たしている。

常に新たな挑戦を続けており、様々な活動を他の教職員と共に取り組むことで、学校全体の指導力を向上させている。

きん かわ まり こ
金 川 真理子

和歌山県立たちばな支援学校 教諭

《主な功績》

教務部長として個別の指導計画の様式改善や作成と活用に係る手引書の作成等を通じ、校内の学習指導の充実や、評価の妥当性の向上に貢献した。

平成28年度には、県教育委員会が作成した特別支援学校版「つなぎ愛シート（個別の教育支援計画）」検討委員会の委員として、県内における統一様式の作成に寄与するなど、特別支援教育において顕著な成果を上げている。

特別支援教育コーディネーターとして、研修会等を通じ、教育・福祉関係者に対して「つなぎ愛シート」の意義や作成・活用方法について啓発を行い、校内だけではなく、地域の特別支援教育の充実に尽力している。

平成29年度から、学校運営の中核的立場である小学部主事を務め、教員の相談役として助言・指導を行うとともに、その前向きな人柄により保護者からの信頼も厚い。また、知的障害、肢体不自由のある児童生徒の実態把握から指導目標の設定、授業づくりに至るまでの高い専門性と技術を有しており、授業実践を通して若手教員の育成にも大きく貢献している。

なか ざと なが ひろ
仲 里 長 浩

和歌山県立有田中央高等学校 教諭

※《主な功績》については、きのくに教育賞受賞者を御覧ください。